授業科目	教職実践演習（中・高）					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	4	開講時期	後期
担当教員	木村　政伸、一期﨑　直美、杉谷　修一、西丸　月美、増本　由紀子、浜谷　小百合、塚本　美紀						
授業概要	教職実践演習は、これまでの教職課程での学びと教育実習を振り返りながら、教師としての使命感、保護者や地域社会への責任、信頼される学校づくりなどの課題について総合的な理解を深めることで実践力をさらに伸ばす機会となることを意図している。また、対象である生徒理解の方法や教師としての専門性を高めるためのリソース活用法などの各テーマについて、グループ学習や討議・発表・模擬授業などの演習形式に沿って学習し、教師としての実践的技能と資質・能力の向上を目指す。						
授業形態	講義 演習			授業方法	グループワーク ディスカッション プレゼンテーション		

学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	1. 教職課程での学びを再点検し、自らに残された課題を探ることができる。 2. 教師として求められる資格･能力を具体的に学校場面に結び付けて理解し伸ばすことができる。 3. 信頼される学校づくりに貢献する教師の在り方を理解し具体的な方策を探ることができる。 4. 生徒理解に基づいた教育活動を展開することができる。 5. 授業の計画、実施、評価に関する知識と実践力を伸ばすことができる。 6. 教師として自律的な成長に必要なリソースを探り活用する。
理想的レベル	「学生が達成すべき行動目標」の標準的レベルに加え、自己の目指す教師像に向けて、主体的かつ具体的に解決を図ろうとすることができる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート	20%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	80%	
レポート外の提出物		
その他		

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	NU44120J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
演習内容を踏まえて履修カルテを再点検する。	4

授業計画

第 1 回	テーマ：イントロダクション（全員） これまでの教職課程の学習について振り返り、各自の残された課題を確認する。
第 2 回	テーマ：教育実習の振り返り（一期﨑直美、木村政伸） 教育実習に参加して明らかになった課題について討議し課題を明確にする。
第 3 回	テーマ：家庭や地域、関係機関との連携（外部講師、一期﨑直美、木村政伸）

	保護者・地域に対する教師の責任とそれを果たす具体的方策について学ぶ。
第 4 回	テーマ：教師にとっての使命感（杉谷修一） 教師の使命感について各自の考えを整理し、グループで討議を行うことを通じ、教師の使命感を涵養する。
第 5 回	テーマ：リソースの活用（一期﨑直美、木村政伸） 教師に求められる専門性を高めるためのリソースの活用法について学ぶ。
第 6 回	テーマ：自己の課題解決に向けて（1）（一期﨑直美、木村政伸） 実習での課題について、解決に向けて発表する。
第 7 回	テーマ：自己の課題解決に向けて（2）（一期﨑直美、木村政伸） 実習での課題について、解決に向けて発表する。
第 8 回	テーマ：他職種との連携（一期﨑直美、木村政伸、浜谷小百合） 他職種連携に向けて、各職種の発表後、連携を図るために討議する。
第 9 回	テーマ：教科指導方法の工夫（1）（一期﨑直美、木村政伸） 各自の課題を踏まえ作成した指導案に基づき模擬授業を展開し、討論する。
第 10 回	テーマ：教科指導方法の工夫（2）（一期﨑直美、木村政伸） 各自の課題を踏まえ作成した指導案に基づき模擬授業を展開し、討論する。
第 11 回	テーマ：教科指導方法の工夫（3）（一期﨑直美、木村政伸） 各自の課題を踏まえ作成した指導案に基づき模擬授業を展開し、討論する。
第 12 回	テーマ：模擬授業（英語学科合同）（一期﨑・木村） 他教科の模擬授業を参観したり、看護教育の模擬授業を展開したりする。
第 13 回	テーマ：特別支援学校訪問（外部講師・一期﨑直美） 障害を抱える子どもへの対応や学校の取組みについて学ぶ。
第 14 回	テーマ：資質・能力の向上に向けた課題の確認（全員） 教師として求められる資質・能力の向上を図るうえで取り組むべき各自の課題について整理する。
第 15 回	テーマ：まとめ（全員） 前回の演習に基づき、グループ討議を通じて資質能力への具体的な取り組みを明らかにし、発表する。
テキスト	担当教員から必要に応じて資料を配布します。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	文部科学省ホームページ 日本看護協会ホームページ
課題に対するフィードバックの方法	レポート、発表、模擬授業等について、全体に対してコメントします。
学生へのメッセー	この講義は、教職課程で学んできたことを前提に総まとめとして演習中心に実施します。

ジ・コメント	教職課程の最終段階として、これまでの全ての学習や活動の総点検をしながら、実践的技能や能力の向上を目指すものです。これからの教師に必要な資質能力や知識技術について、自己の課題をみつめながらその解決につながるよう積極的に学びを深めましょう。